

# みどり

冬

No.147

はじめてみよう！  
公園でバードウォッチング

メジロ  
(横浜市  
こども植物園)

ウグイス  
(長浜公園)

## 間違えやすい？ メジロとウグイス

春の訪れを感じるウグイスの鳴き声「ホーホケキョッ」。「あっ、いたいたウグイスだ！」と見つけたのはメジロだった…なんて勘違いをよく耳にします。メジロは花の蜜が大好きで梅や桜などに寄ってくる一方、ウグイスは警戒心が強く、主に昆虫を食し笹藪などの人目につかない場所にいます。「梅に驚」ということわざから連想し、梅の木によく止まっている黄緑色のメジロをウグイスと誤認しがちですが、ウグイスは意外に地味な緑褐色をしています。写真を見比べてみましょう。

また、初春の風物である梅の観賞には、横浜市こども植物園に隣接する横浜市児童遊園地の「梅林エリア」がおすすめです。約130本の梅の木があり、毎年1月初旬～2月下旬にかけて楽しめます。(横浜市児童遊園地：保土ヶ谷区狩場町213)

梅林エリア  
(横浜市児童遊園地)

## 観察エリア1 原っぱ(身近な場所)

冬のスズメは「ふくら雀」と呼ばれ、まん丸とした愛らしい姿を見せてくれます。膨らませた羽毛に空気の層を閉じ込め、自らの体温で温め寒さを凌ぎます。決して冬太りしているわけではありません。他にも、冬は縄張りを持ちオス・メスともに単独で行動するジョウビタキや、地鳴きが似ているルリビタキなどの冬鳥が身近な場所で観察できます。



ジョウビタキ(オス) ジョウビタキ(メス) ルリビタキ(オス)

**豆知識** 留鳥：1年中同じ場所で生活する鳥  
冬鳥：秋に北から渡ってきて越冬し、春には去っていく渡り鳥

## スズメ 注目の鳥

分類：留鳥  
観察難易度：★  
大好物：生米(大食漢です)

冬の姿は豊かさを表す縁起もの



スズメ

# はじめてみよう！公園でバードウォッチング

冬は木々が葉を落とし、森や林の見通しが良くなるため、はじめての野鳥観察におすすめの季節です。メジロやウグイスのほか、冬の公園にはどのような野鳥がやってくるのでしょうか。観察エリアごとに見ていきましょう。



バードウォッチングがさらに楽しくなる！

あると良い持ち物3種  
双眼鏡・野鳥図鑑・カメラ  
※冬は防寒対策を忘れずに！



バードウォッチングは誰でもすぐに始められます。鳥との偶然の出会いを楽しみに、身近な自然に目を向けてみませんか？

## イベント情報

鳥を呼ぶアイテムを作ってみませんか？

2/20(日) 長浜公園 「バードコールづくり」

- ▶時間 10:30～12:00
- ▶定員 20名程度(申込多数の場合は抽選)
- ▶申込 2/18(金)までに電話か窓口で受付
- ▶住所 金沢区長浜106-6
- ▶TEL 045-782-8004
- ▶駐車 有料P 75台

一緒に園内を散策して野鳥を探してみませんか？

2/26(土) 富岡総合公園

- ▶時間 10:00～11:00(管理センター前9:50集合)
- ▶定員 先着15名
- ▶申込 前日までに電話か窓口で受付
- ▶住所 金沢区富岡東2-9
- ▶TEL 045-774-3003
- ▶駐車 有料P 24台

2/27(日) 俣野別邸庭園

- ▶時間 10:00～11:00(休憩棟前9:45集合)
- ▶定員 小学生以上10名(小学生は保護者同伴)
- ▶申込 2/12(土)9:30から電話か窓口で受付
- ▶住所 戸塚区東俣野80-1
- ▶TEL 045-852-8038
- ▶駐車 有料P 37台

## 注目の鳥

### ヒレンジャク

分類：冬鳥  
観察難易度：★★★★  
大好物：ヤドリギの実

ヤドリギ(寄生木)の多い富岡総合公園にここ数年姿を現するのが確認されています。他にも森や林の中では、捕まえた虫を細い枝などに突き刺す「はやにえ」の習性があるモズや、秋冬はメジロ、コゲラ、エナガなどと混群をつくって暮らし、黒いネクタイ模様が特徴のシジュウカラなども観察できます。俣野別邸庭園では巣箱を設置したところ、シジュウカラが営巣したことも！



巣箱に入る様子 シジュウカラ モズ ヤドリギ

**豆知識** 混群：違う種類の鳥が一緒になっている群れのこと

## 観察エリア3 森や林の中

北東アジアに生息し、冬は木の実に探して日本などにやってきます。

ヤドリギの大切なパートナー  
～種をファンとして遠くへ運びます～



スズメ

## 注目の鳥

### スズガモ

分類：冬鳥  
観察難易度：★  
大好物：貝類

冬になると越冬のため、スズガモの大群が海の公園や野島公園の海辺に渡来するのが毎年のように確認されています。他にもスズガモに配色が似ているキンクロハジロや、オオバン、ユリカモメなど、たくさんの渡り鳥が海辺で観察できます。



キンクロハジロ オオバン スズガモ

## カワセミ

分類：留鳥  
観察難易度：★★  
大好物：小魚

## 観察エリア2 水辺

漢字で「翡翠」と書くほど、羽色が美しい鳥です。小魚が生息していればどこでも観察できる可能性があり、長浜公園の汽水池(海とつながった池)・淡水池や、岸根公園の篠原池、馬場花木園の蓮池などの水辺で見られます。カワセミが好む止まり木には、白い糞がついていることが多く、その木を見つけることができればじっくりと観察できるでしょう。他にも、さえずりがとても美しいインヒヨドリや、マガモ、カイツブリなど様々な野鳥が水辺で観察できます。



カワセミ インヒヨドリ(オス) マガモ(左オス, 右メス) カイツブリ

長浜公園には野鳥観察園があります

野鳥の自然な姿を観察できるように、バードサンクチュアリ(野鳥の聖域)として、人の立ち入りを禁止し、周りに4カ所の観察小屋を設置しています。



野鳥観察園

**豆知識** 地鳴き：日常的な鳴き声 さえずり：繁殖期のオスの求愛の鳴き声

## Pickup情報!

- イベントは天候等により変更・中止の場合があります。
- 表記のないものは申込不要、参加費無料です。
- 休園日・休館日が休日・祝日の場合は翌日がお休みです。
- 各施設情報の詳細はホームページ 横浜市緑の協会 Q でご確認ください。

イベント名	開催日時	内容	開催場所	住所/TEL	休/有料P
博文邸のお正月飾り	1/5(木)～1/10(月)祝 9:30～15:30	日本の伝統的なお正月飾りの展示や、伊藤博文が設立にかかわった富岡製糸工場にちなんで、蘭玉飾りを展示します。	旧伊藤博文金沢別邸(野島公園内)	金沢区野島町24 045-788-1919	第1,3月(*) /156台
海の環境を考える親子講座	1/9(日), 2/6(日) 13:00～15:30	テーマは、1月「海の食育講座」2月「金沢の漁港」です。(参加費300円/小学生の子と親各回先着8組/開催日の5日前までに電話申込受付)	海の公園	金沢区海の公園10 045-701-3450	無 /1426台
みどりの発見コーナー(ミニ展示)	1/24(月)～2/13(日) 9:00～16:30	展示研修館の展示室で、落葉樹の冬芽や草本植物のロゼットについて、解説と写真を展示します。	横浜市こども植物園	南区六ツ川113-122 045-741-1015	第3月 /無
上巳の節句	2月中旬～3月初旬 10:00～16:00	昔ながらの日本家屋の旧藤本家住宅主屋に、お雛様を飾ります。	旧藤本家住宅(馬場花木園内)	鶴見区馬場2-20-1 045-585-6552	第3火 /無
野球場無料開放DAY	3/22(水) 13:00～15:00	小学生(小学生未満は保護者同伴)を対象に、野球場を開放します。体を動かして免疫力をUPしましょう。	岸根公園	港北区岸根町725 045-481-1697	無 /157台

(※)1月は毎週月曜休館

## 「第15回横浜山手芸術祭」

## YOKOHAMA YAMATE ART FESTIVAL

2/11(金・祝)～2/23(水・祝) 9:30～17:00

### 会場

外交官の家、ブラフ18番館、ベリック・ホール、エリスマン邸、山手234番館、横浜市イギリス館、山手111番館

問合せ 045-663-5685(ベリック・ホール)

※開催内容の詳細は山手西洋館のホームページなどでご確認ください。

外国人居留地であった山手は、海外からの文化がいち早く伝わり、シェイクスピア劇が日本で初めて上演されるなど、西洋の文化を発信してきた地です。この歴史と地域資源を生かし、ユースギャラリー(近隣学校の児童・生徒による絵画や工作の展示)、アルメアンレースやガラス・アートなどの作品展示、コンサートや朗読劇など、各会場で様々な芸術を披露します。



ユースギャラリー

※野鳥を観察する際は、長時間同じ場所を占有せずに、譲り合って観察しましょう。また、近づき過ぎず触らないようにしましょう。もし、野鳥の排泄物などに触れてしまった場合は、手洗いうがいをしましょう。 ※新型コロナウイルス感染症の状況や鳥インフルエンザの状況により、施設の利用制限・利用中止や、イベント等が変更・中止となる場合があります。

横浜市は大都市でありながら、身近な場所に水や緑の環境があります。市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」を推進しています。

### 2020年度に実施した事業の主な実績

横浜みどりアップ計画は次の3本の柱で進めています。



#### 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- ・緑地保全制度による指定を進め、28.9haの樹林地を保全
- ・愛護会などと連携して良好な森づくりを推進 (200か所)



#### 市民が身近に農を感じる場をつくる

- ・貴重な農景観である水田を保全 (113.3ha)
- ・市民ニーズに合わせた農園を3.98ha開設



#### 市民が実感できる緑や花をつくる

- ・地域緑のまちづくりなどの取組を推進
- ・子どもを育む場所でのみどりの創出・育成を推進

森づくり体験会 (戸塚区) ▶



横浜みどりアップ 葉っぱ

詳しくは、ホームページを御覧ください。

横浜みどりアップ計画

検索



※事業報告書は区役所などで閲覧もできます

問合せ：環境創造局みどりアップ推進課

TEL. 045-671-2712 FAX. 045-224-6627

E-MAIL: ks-midoriup@city.yokohama.jp



### 緑化推進事業の取り組み

## よこはま緑の推進団体「水仙クラブ」が 国土交通大臣表彰を受賞しました

(公財)横浜市緑の協会では、よこはま緑の街づくり基金の果実(利息)を活用し、都市緑化の普及啓発や市民の皆様による緑化団体「よこはま緑の推進団体」の育成・支援に積極的に取り組んでいます。その団体の中から毎年最優秀活動賞を選出し、横浜市環境創造局を通して国土交通省に推薦しています。

令和2年度に最優秀活動賞を受賞した「水仙クラブ(代表 橋村 憲治氏)」が、花と緑の愛護の顕著な功績を称えられ、第32回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

「水仙クラブ」は、東永谷地区センター・ケアプラザの施設利用者とボランティア等6名が中心となって施設周辺の緑化活動を始め、地域の方々にも参加を呼びかけながら、花の植え替え、種まき講習会、水やりボランティアなど様々な活動を行っています。また、近隣小学校の児童が花の名札作りに参加するなど地域の交流が広がり、四季折々に見ごろを迎える花々を往来する多くの方々に楽しんでいただいています。



### 基金 だより

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の私有地の緑化を市民の手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆様の緑化活動を支援しています。

令和3年8月1日～10月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

【寄付団体】横浜市グリーン事業協同組合、花やぐまち助成事業利用団体の皆様、市内募金箱ご協力の皆様

令和3年10月31日までの積み立て総額は2,694,014,267円です。

区役所等に募金箱を設置しています。



基金の果実(利息)は、市民の皆様の緑化活動に活かされています。よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

【緑化支援内容の一例】令和2年度実績



生垣 3軒 15.9m



記念植樹 3本



花苗 109,969鉢、球根 20,726球、種袋 3,493袋 (のべ1,088団体)

- 寄付金の振込先  
横浜銀行本店 普通No.0381642  
受取人：(公財)横浜市緑の協会
- 問合せ先  
(公財)横浜市緑の協会 施設課 緑化推進係  
TEL.045-228-9470 FAX.045-641-0821

